

教科	国語	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界はうつくしいと	1	○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ) ○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)		○進んで語感を磨き、友達の考えや今までの学習を生かして詩の解釈や朗読しようとしている。
握手	4	○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ) ○文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えることができる。(思・判・表(1)ア) ○文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。(思・判・表(1)イ) ○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)	○「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えている。(1)イ) ○「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(1)イ)	○物語の展開のしかたを粘り強く捉え、今までの学習を生かして読み深めた感想を交流しようとしている。
意見を聞き、適切さを判断する	1	○情報の信頼性の確かめ方を理解し、使うことができる。(知・技(2)イ) ○目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。(思・判・表(1)ア) ○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	○情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)イ)	○「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(1)イ)	○聞き取った内容や意見と根拠の適切さを進んで評価し、今までの学習を生かして発言を考えようとしている。
文法を生かす	1	○単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。(2年知・技(1)オ) ○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	○単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。(2年(1)オ)		○助詞や助動詞の働きなどを進んで振り返り、今までの学習を生かして役間に取り組もうとしている。
説得力のある構成を考えよう	3	○情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ○自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫することができる。(思・判・表(1)イ) ○場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。(思・判・表(1)ウ) ○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	○情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)イ)	○「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。(1)イ) ○「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(1)ウ)	○相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、学習の見通しをもって自分の考えを伝えようとしている。
相手や場に応じた言葉遣い	1	○敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うことができる。(知・技(1)エ) ○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	○敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。(1)エ)		○相手や場に応じた言葉遣いや表現の選び方について進んで理解し、今までの学習を生かして練習問題に取り組もうとしている。

<p>学びて時に之を習ふ一「論語」から</p>	<p>2</p>	<p>◎歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。 (知・技(3)ア) ◎長く親しまれている言葉や古典の節を引用するなどして使うことができる。(知・技(3)イ) ◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(思・判・表 C(1)エ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア) ・長く親しまれている言葉や古典の節を引用するなどして使っている。(3)イ)</p>	<p>「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)</p>	<p>人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見を持ち、今までの学習を生かして考えを伝え合おうとしている。</p>
-------------------------	----------	--	---	--	---

作られた「物語」を超えて	3	<ul style="list-style-type: none"> ◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(知・技(2)ア) ◎文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えることができる。(思・判・表0(1)ア) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) 	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア)	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。(0(1)ア)	進んで文章の構成や論理の展開を捉え、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。
具体化・抽象化	1	<ul style="list-style-type: none"> ○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(知・技(2)ア) ○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) 	○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア)		○具体と抽象の関係について積極的に理解し、学習した内容を生かして問題に取り組みようとしている。
熟語の読み方	1	<ul style="list-style-type: none"> ○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(知・技(2)ア) ○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) 	○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア)		○具体と抽象の関係について積極的に理解し、学習した内容を生かして問題に取り組みようとしている。
論理の展開を意識して書こう	4	<ul style="list-style-type: none"> ○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(知・技(2)ア) ○目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。(思・判・表B(1)イ) ○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) 	○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア)	<ul style="list-style-type: none"> ○「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ○「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ) 	○論理の展開や意見と根拠、それらを結び付ける「理由づけ」などを粘り強く考え、学習課題に沿って説得力のある小論文を書こうとしている。
熟語の読み方	1	<ul style="list-style-type: none"> ○第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。(知・技(1)ア) ○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) 	○第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア)		○学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
俳句の可能性 俳句の創作教室 俳句を味わう	4	<ul style="list-style-type: none"> ○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ) ○俳句の構成や表現のしかたについて評価することができる。(思・判・表0(1)ウ) ○表現のしかたを考えるなど、自分の考えがわかりやすく伝わる俳句になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) 	○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)	<ul style="list-style-type: none"> ○「読むこと」において、俳句の構成や表現のしかたについて評価している。(0(1)ウ) ○「書くこと」において、表現のしかたを考えるなど、自分の考えがわかりやすく伝わる俳句になるように工夫している。(B(1)ウ) 	○進んで表現のしかたなどを詳細に、学習課題に沿って鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。

言葉の約り系を垂らす	2 ○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ) ○文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの方や考え方について考えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)	○「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの方や考え方について考えている。(C(1)イ)	○筆者のものの見方や考え方を積極的に読み取り、学習課題に沿って自分の考えをまとめようとしている。
和語・漢語・外来語 語彙を豊かに 時代や世代による言葉の変化	1 ○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ) ○時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解することができる。(知・技(3)ウ) ○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ) ○時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。(3)ウ)		○進んで和語・漢語・外来語を理解し、今までの学習を生かして、相手や場面に応じて適切に使い分けようとしている。また、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて進んで理解し、学習課題に沿って相手や場面に合った言葉を選んで伝えようとしている。
実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう	2 ○話や文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。(知・技(1)ウ) ○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(知・技(2)ア) ○情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ○文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えることができる。(思・判・表C(1)ア) ○文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの方や考え方について考えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	○話や文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)ウ) ○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) ○情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)イ)	○「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。(C(1)ア) ○「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの方や考え方について考えている。(C(1)イ) ○「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	○文章の種類を踏まえて、積極的に情報を読み取り、学習課題に沿って実生活への生かし方を考えようとしている。 ○文章の構成や論理の展開、表現のしかたなどを進んで捉え、学習課題に沿って報道文を比較し、自分の考えをまとめようとしている。
情報整理のレッスン 情報の信頼性	1 ○情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	○情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)イ)		○積極的に情報の信頼性の確かめ方を理解し、学習したことを生かして問題に取り組もうとしている。
読書を楽しむ	1 ○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。(知・技(3)ウ) ○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)ウ)		○進んで読書の意義と効用について理解し、学習の見通しをもって読書を楽しむ活動に参加しようとしている。
「私の一冊」を探しにいこう 羊と鋼の森 読書案内 本の世界を広げよう コラム たべになるってどんなこと？	1 ○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。(知・技(3)ウ) ○文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(思・判・表C(1)エ) ○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)ウ)	○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)	○進んで本の探し方について理解し、今までの学習を生かして本を選んだり読んだことを書評などにまとめたりしようとしている。
挨拶 —原稿の写真によせて	2 ○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ) ○詩の構成や表現のしかたについて評価することができる。(思・判・表C(1)ウ) ○詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(思・判・表C(1)エ) ○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)	○「読むこと」において、詩の構成や表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ) ○「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)	○詩の構成や表現のしかたを積極的に評価し、学習課題に沿って読み深めた詩について、感じたことや考えたことを伝え合おうとしている。

<p>故郷</p>	<p>5</p> <p>○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。(知・技(3)才)</p> <p>○文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの方や考え方について考えることができる。(思・判・表C(1)イ)</p> <p>○文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(思・判・表C(1)エ)</p> <p>○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)才)</p>	<p>○「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの方や考え方について考えている。(C(1)イ)</p> <p>○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)</p>	<p>○文章を批判的に読むことに積極的に取り組み、今までの学習を生かして小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。</p>
<p>[推敲]論理の展開を整える</p>	<p>2</p> <p>○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(知・技(2)ア)</p> <p>○目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えることができる。(思・判・表B(1)エ)</p> <p>○論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。(思・判・表B(1)オ)</p> <p>○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア)</p>	<p>○「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。(B(1)エ)</p> <p>○「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ)</p>	<p>○目的や意図に応じた表現になっているかを粘り強く確認して推敲し、読み手からの助言や、情報と情報との関係についての知識を生かして、書き改めようとしている。</p>
<p>言葉3 慣用句・ことわざ・故事成語</p>	<p>1</p> <p>○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ)</p> <p>○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)</p>	<p>○慣用句やことわざ、故事成語の意味や使い方について積極的に調べ、今までの学習を生かして短文を作ろうとしている。</p>	
<p>聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る</p>	<p>1</p> <p>○敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うことができる。(知・技(1)エ)</p> <p>○話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表A(1)エ)</p> <p>○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>○敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。(1)エ)</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)エ)</p>	<p>○話の展開を予測しながら積極的に聞き、今までの学習を生かして対話しようとしている。</p>
<p>漢字2 漢字の遠読力</p>	<p>1</p> <p>○第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。(知・技(1)ア)</p> <p>○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>○第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア)</p>		<p>○学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p>
<p>複数の意見を読んで、考えよう — 正解が一つに決まらない課題と向き合う</p>	<p>3</p> <p>○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。(知・技(3)才)</p> <p>○文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの方や考え方について考えることができる。(思・判・表C(1)イ)</p> <p>○文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価することができる。(思・判・表C(1)ウ)</p> <p>○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)才)</p>	<p>○「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの方や考え方について考えている。(C(1)イ)</p> <p>○「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ)</p>	<p>○三つの文章を批判的に読むことに粘り強く取り組み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。</p>

<p>考えを効果的に伝えよう 多角的に分析して批評文を書く</p>	<p>5</p> <p>○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(知・技(2)ア) ○表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ○論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。(思・判・表B(1)オ) ○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア)</p>	<p>○「書くこと」において、表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) ○「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ)</p>	<p>○自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように、粘り強く工夫し、学習の見通しをもって批評文を書くこととしている。</p>
<p>漢字に親しもう3 文法への扉2 「ない」の違いがわからない？ 文法2 文法のまとめ</p>	<p>1</p> <p>○第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。(知・技(1)ア) ○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) ○単語の類別について理解するとともに、単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応について理解することができる。(知・技1年(1)エ、2年(1)オ) ○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>○第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア) ○単語の類別について理解するとともに、単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応について理解している。(1年(1)エ、2年(1)オ)</p>		<p>○今までに学習した知識を生かして、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ○単語の類別や活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応について進んで理解し、今までの学習を生かして課題に取り組もうとしている。</p>
<p>聴きひたる 初恋</p>	<p>1</p> <p>○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ) ○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)</p>		<p>○進んで語感を磨き、今までの学習を生かして作品を読んだり自分の考えを述べたりしようとしている。(1)イ)</p>
<p>和歌の世界 音読を楽しむ 古今和歌集 仮名序</p>	<p>1</p> <p>○歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>○歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア)</p>		<p>○進んで古典の世界に親しみ、今までの学習を生かして朗読しようとしている。</p>
<p>君待つと ——万葉・古今・新古今</p>	<p>2</p> <p>○歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ○長く親しまれている言葉や古典の節を引用するなどして使うことができる。(知・技(3)イ) ○和歌の表現のしかたについて評価することができる。(思・判・表C(1)ウ) ○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>○歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア) ○長く親しまれている言葉や古典の節を引用するなどして使っている。(3)イ)</p>	<p>○「読むこと」において、和歌の表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ)</p>	<p>○進んで和歌の表現のしかたについて評価し、学習の見通しをもって自分の評価を書くこととしている。</p>
<p>夏草 ——「おくのほそ道」から</p>	<p>3</p> <p>○歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ○長く親しまれている言葉や古典の節を引用するなどして使うことができる。(知・技(3)イ) ○文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>○歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア) ○長く親しまれている言葉や古典の節を引用するなどして使っている。(3)イ)</p>	<p>○「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ)</p>	<p>○作者のものの見方や感じ方について進んで自分の意見を持ち、今までの学習を生かして発表しようとしている。</p>

つながらる古典 古典名作選 [書]古典の言葉を引用し、 メッセージを贈ろう	1	○歴史的背景などに注意して 古典を読むことを通じて、その 世界に親しむことができる。 (知・技(3)ア) ○長く親しまれている言葉や古 典の節を引用するなどして 使うことができる。(知・技(3)イ) ○文章の種類を選択し、多様 な読み手を説得できるように論 理の展開などを考えて、文章の 構成を工夫することができる。 (思・判・表(1)イ) ○言葉がもつ価値を認識する とともに、読書を通して自己を 向上させ、我が国の言語文化 に関わり、思いや考えを伝え合 おうとする。(学びに向かう力、 人間性等)	○歴史的背景などに注意して 古典を読むことを通じて、その 世界に親しんでいる。(3)ア) ○長く親しまれている言葉や古 典の節を引用するなどして 使っている。(3)イ)	○「書くこと」において、文章の 種類を選択し、多様な読み手を 説得できるように論理の展開な どを考えて、文章の構成を工夫 している。(B(1)イ)	○長く親しまれている言葉や古 典の節を選んで引用するなど し、今までの学習を生かして メッセージを書こうとしている。
それでも、言葉を	4	○具体と抽象など情報と情報との 関係について理解を深めるこ とができる。(知・技(2)ア) ○文章を批判的に読みなが ら、文章に表れているものの見 方や考え方について考えること ができる。(思・判・表(1)イ) ○文章を読んで考えを広げたり 深めたりして、人間、社会、自 然などについて、自分の意見 をもつことができる。(思・判・表 C(1)エ) ○言葉がもつ価値を認識する とともに、読書を通して自己を 向上させ、我が国の言語文化 に関わり、思いや考えを伝え合 おうとする。(学びに向かう力、 人間性等)	○具体と抽象など情報と情報との 関係について理解を深めて いる。(2)ア)	○「読むこと」において、文章を 批判的に読みながら、文章に 表れているものの見方や考え 方について考えている。(C(1) イ) ○「読むこと」において、文章を 読んで考えを広げたり深めたり して、人間、社会、自然などに ついて、自分の意見をもってい る。(C(1)エ)	○言葉や社会、人間などにつ いて粘り強く自分の意見をま とめ、今までの学習を生かして理 解したことや考えたことにつ いて話し合ったり発表したりし ようとしている。
漢字3 漢字のまとめ 漢字に親しもう4	1	○第2学年までに学習した常用 漢字に加え、その他の常用 漢字の大体を読むことができ る。また、学年別漢字配当表に 示されている漢字について、文 や文章の中で使い慣れること ができる。(知・技(1)ア) ○言葉がもつ価値を認識する とともに、読書を通して自己を 向上させ、我が国の言語文化 に関わり、思いや考えを伝え合 おうとする。(学びに向かう力、 人間性等)	○第2学年までに学習した常用 漢字に加え、その他の常用 漢字の大体を読んでいる。ま た、学年別漢字配当表に示さ れている漢字について、文や 文章の中で使い慣れている。 (1)ア)	○学習課題に沿って、積極的 に漢字を読んだり書いたりし ようとしている。	
話し合い(進行) 話し合いを効果的に進めよう	1	○具体と抽象など情報と情報との 関係について理解を深めるこ とができる。(知・技(2)ア) ○進行のしかたを工夫したり互 いの発言を生かしたりしながら 話し合い、合意形成に向けて 考えを広げたり深めたりするこ とができる。(思・判・表(1)オ) ○言葉がもつ価値を認識する とともに、読書を通して自己を 向上させ、我が国の言語文化 に関わり、思いや考えを伝え合 おうとする。(学びに向かう力、 人間性等)	○具体と抽象など情報と情報との 関係について理解を深めて いる。(2)ア)	○「話すこと・聞くこと」におい て、進行のしかたを工夫したり 互いの発言を生かしたりしな がら話し合い、合意形成に向け て考えを広げたり深めたりし ている。(A(1)オ)	○積極的に進行の工夫とその 効果を分析し、今までの学習を 生かして話し合いの効果的な 進め方について考えようとし ている。
合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く	4	○具体と抽象など情報と情報との 関係について理解を深めるこ とができる。(知・技(2)ア) ○進行のしかたを工夫したり互 いの発言を生かしたりしながら 話し合い、合意形成に向けて 考えを広げたり深めたりするこ とができる。(思・判・表(1)オ) ○言葉がもつ価値を認識する とともに、読書を通して自己を 向上させ、我が国の言語文化 に関わり、思いや考えを伝え合 おうとする。(学びに向かう力、 人間性等)	○具体と抽象など情報と情報との 関係について理解を深めて いる。(2)ア)	○「話すこと・聞くこと」におい て、進行のしかたを工夫したり 互いの発言を生かしたりしな がら話し合い、合意形成に向け て考えを広げたり深めたりし ている。(A(1)オ)	○合意形成に向けて粘り強く 考えを広げたり深めたりし、学 習の見直しをもって話し合おう としている。
本は世界への扉 天、共に在り 極夜行 読書案内 本の世界を広げよう	1	○自分の生き方や社会との関 わり方を支える読書の意義と 効用について理解することがで きる。(知・技(3)オ) ○文章を読んで考えを広げたり 深めたりして、人間、社会、自 然などについて、自分の意見 をもつことができる。(思・判・表 C(1)エ) ○言葉がもつ価値を認識する とともに、読書を通して自己を 向上させ、我が国の言語文化 に関わり、思いや考えを伝え合 おうとする。(学びに向かう力、 人間性等)	○自分の生き方や社会との関 わり方を支える読書の意義と効 用について理解している。(3) オ)	○「読むこと」において、文章を 読んで考えを広げたり深めたり して、人間、社会、自然などに ついて、自分の意見をもってい る。(C(1)エ)	○進んで読書の意義と効用に ついて理解し、今までの学習や 経験を生かして、読んだ本や興 味をもった本について語り合 おうとしている。
温かいスープ アラスカとの出会い 律儀な様	2	○自分の生き方や社会との関 わり方を支える読書の意義と 効用について理解することがで きる。(知・技(3)オ) ○文章を読んで考えを広げたり 深めたりして、人間、社会、自 然などについて、自分の意見 をもつことができる。(思・判・表 C(1)エ) ○言葉がもつ価値を認識する とともに、読書を通して自己を 向上させ、我が国の言語文化 に関わり、思いや考えを伝え合 おうとする。(学びに向かう力、 人間性等)	○自分の生き方や社会との関 わり方を支える読書の意義と効 用について理解している。(3) オ)	○「読むこと」において、文章を 読んで考えを広げたり深めたり して、人間、社会、自然などに ついて、自分の意見をもってい る。(C(1)エ)	人間、社会などについて進んで 自分の意見もち、今までの学 習や経験を生かして批評したり 考えを伝え合ったりしようとし ている。

わたしを兼ねないで	1 ○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ) ○詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(思・判・表(1)エ) ○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ)	○「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(0(1)エ)	○詩を読んで、進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。
三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする	5 ○話や文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。(知・技(1)ウ) ○場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。(思・判・表(1)ウ) ○文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。(思・判・表(1)イ) ○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	○話や文章の種類とその特徴について理解を深めている。((1)ウ)	○「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) ○「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ)	○粘り強く言葉を選んだり構成を工夫したりし、今までの学習を生かして、文章にまとめた。友達の発表を聞いて質問したり評価したりしようとしている。
初日 漢字に親しもう5	2 ○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ) ○詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(思・判・表(1)エ) ○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) ○第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。((1)ア)	○「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(0(1)エ)	○詩を読んで、進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の内容について話し合おうとしている。 ○学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
国語の力試し	3 ○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ) ○歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ○文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開のしかたなどを捉えることができる。(思・判・表(1)ア) ○文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。(思・判・表(1)イ) ○進行的しかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表(1)ウ) ○多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。(思・判・表(1)イ) ○表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表(1)イ)	○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) ○歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。((3)ア)	○「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開のしかたなどを捉えている。(0(1)ア) ○「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(0(1)イ) ○「話すこと・聞くこと」において、進行的しかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(A(1)ウ) ○「書くこと」において、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ) ○「書くこと」において、表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)	○粘り強く文章や資料を読み取り、今までの学習を生かしてそれぞれの学習課題に取り組みようとしている。